～学校と家庭・地域をつなぐお便り～

「○○になれますように、なりますように」のお願い事、かなうといいね

柏原っ子

平成30年7月17日

第5号

文責　：　中西

８月のことば

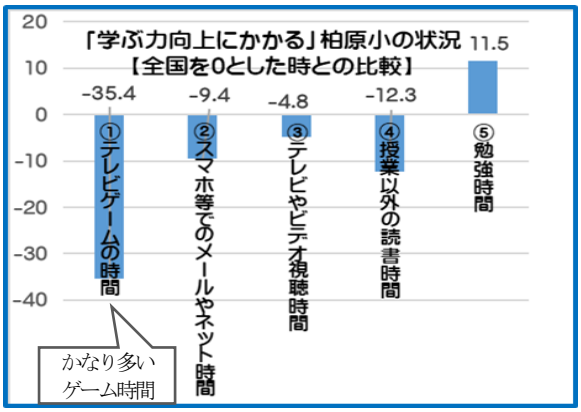
「世の中に“？”と“！”と両方あれば、ほかにはもうなにもいらん。」　（詩人の　まど・みちおさんの言葉）

＊　「ぞ～うさん、ぞ～うさん、おはながながいのね～」もそうですが、簡単な言葉で真理を伝えるまどさんならではの言葉ですね。

●この夏、子どもに「熱中体験」を！

夏休みは何といっても普段より「時間」がある。そこで、「勉強」でも「趣味」でも「スポーツ」でも、そして「遊び」でもいい、子どもの興味・関心次第で、好きなことにとことん打ち込んで、時間を忘れるほどの体験をしてほしい。

ただし、「ゲーム」だけは勘弁してもらいたい。熱中することによって養われるはずの、「主体性」や「困難にあってもくじけない闘志・気骨」がゲームによって育つとは、私には考えにくいからだ。勉強や活動後のゲームには一定の効果があるとは認めるが、ゲームはバーチャルの世界、主体性とは真逆の、引きずり込まれてしまう世界だと思う。特に本校のゲーム環境は実は深刻である。



この質問項目は学力向上に関係するとされているものの抜粋である。数値は1日あたりの時間で、「①テレビゲーム～③テレビ～」については、「全く見(し)ない、1時間未満、1～2時間、2時間以上」の順に4点、3点、2点、1点としている。つまり、全国と比較してテレビゲームの時間はかなり長く、ネットやテレビ等の視聴時間もやや長いということである。また、読書時間は短いものの、勉強時間は全国平均より、少し長い結果となった。　（データは県教委提供）

私の高校時代の英語科の恩師は、自身が大学受験に失敗した時、家のお金を持ち出して、長浜のとある書店で書棚がすっからかんになるほど文庫本を爆買いしたという。おやじさんは、受験失敗で落ち込んでいた息子が家のお金を黙って持ち出したものだから、それはそれは心配した。が、両手と背中にいっぱいの本を抱えて家に戻った息子を見て、よくやったと抱きしめた。それからは家にこもって読書三昧。自分が本に溶け込んでしまう感覚になったらしい。

恩師の口癖は「本を読め。どんな本でも読まなあかん。読まんと脳の成長が止まってしまう」だった。この先生の人間味あふれた「人生いろいろ」の話は、どれもとても愉快で、今でも折に触れ思い出される。

そんな恩師を思い出し、ゲームでなく、同じことなら本にのめりこんでほしいと切に願う。

●熱中する子が育つ家庭の秘密とは？

では、子どもがあることに打ち込みやすい家庭環境のポイントは何だろう。三つ挙げてみよう。

(1)心の安定

家庭内のルールが明確で、親の機嫌や都合にふりまわされないこと。家族の笑顔が一番。

(2)声かけと相槌

ちょっとした誉め言葉で、自分もやればできるという小さな成功体験を積ませること。子どもの話は顔を見て聞くこと。相槌で応えること。

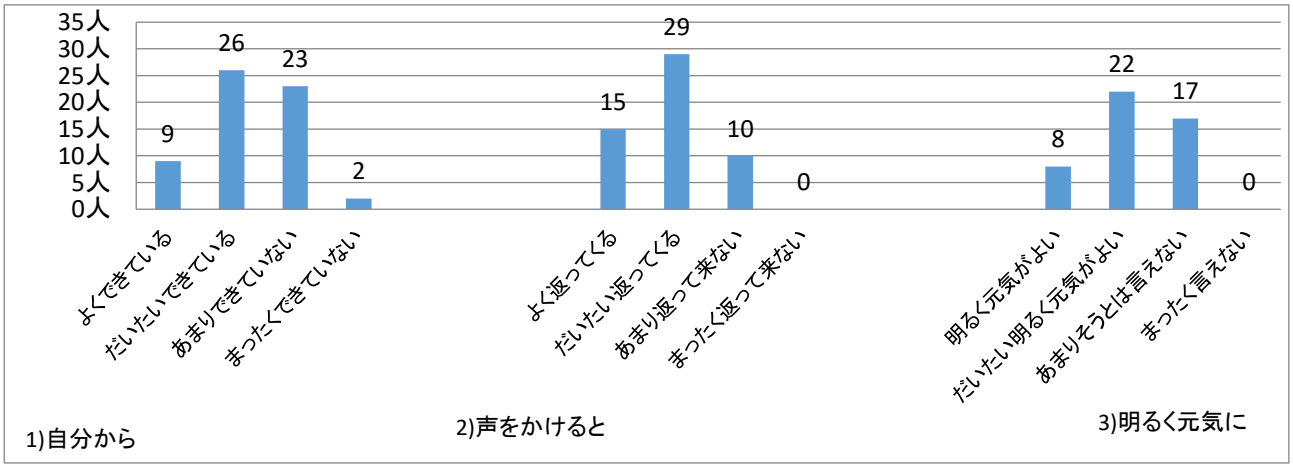
(3)子どもが選択する機会を

上記(1)(2)の次は、日常の何気ない場面での自己決定ができる場の設定。どっちにする？　二つの選択肢から選ばせることから始めよう。

■夏休みは家庭教育の絶好の機会

－　子どもにはヘルプでなくフォローを　－

●スクールガードさんに聞きました。柏小のこどもたちのあいさつは？



毎日、ありがとうございます。スクールガードさんからのご意見･ご感想（紙面の都合で一部抜粋）

◇挨拶は地域性が強く感じられます。また、家庭内で挨拶が交わされているかいないかがよく表れていると思います。保護者の理解を得、協力して頂きたいですね。

◇昨年より挨拶する子が増えました。学年関係なく仲良くおしゃべりしての登校、うれしく思います。

◇登校時はリーダーがおり、まあまあと思いますが、下校時後の自転車および歩行についての指導がもう少し力を入れていく必要ありと思います。

◇大きい声であいさつをしてくれ、見守りの帰りは大人を元気にしてくれます。なかには、恥ずかしがってしない子もまだ半分くらいいますので、こちらが声をかけています。ただ、下校時は友達とふざけながら道の真ん中に飛び出したりして帰る子もいるので、とても心配です。

毎日、子どもたちを見守り、あいさつの声をかけてくださる、スクールガードさんはじめ地域の皆様、本当にありがとうございます。このことがこどもたちの心の成長に及ぼす良い影響は、計り知れないものがあります。夏休みに入りますが、地域で子どもたちを見かけられたら、いつもと変わらぬお声掛けをどうぞよろしくお願いします。

● 挨拶標語　柏小校内審査会の結果 ●

プロジェクト大賞

「スマイルで　元気いっぱい　ごあいさつ」

柏原大賞

「ひろげよう　元気なあいさつ　えがおのわ」

「感想文･習字わくわく教室」　児童募集のお知らせ

夏休みはいろいろな課題に挑戦するチャンスです。ただ、やってみたいけれど、自信のない人もいるでしょう。そんな人を今年も校長自らがサポートします。内容と申込みの仕方は次のとおり。

1．**内　容**：休みの課題のうち、読書感想文または習字作品の指導、完成までのサポート

2．**場　所**：柏原小学校　校長室　他

3．**参加条件**

・感想文･･･本を読み終わって、下書き程度が書けている人（枚数は不問）

・習字･･･書きたい字が決まっている人

4．**所要時間**：約２時間～２時間半の予定

5．**持ち物**

・感想文･･･本、作文用紙、下書き、筆記用具

・習字･･･習字セット、お手本の紙、半紙など

6．**申込みのしかた**

【午前は８：00～12：00 午後は１：30～４：30　】

行きたい日を決め、前日（平日）までに予約をしてください。【柏原小☎57-0014　校長まで】

不在の場合は、電話応対の職員に伝言をしてください。

教室開催日:7/26(午前)、8/1(午後)、8/2(午後)、8/6(午前)、8/7(午後)、8/8(午前)、8/9(午後)

＊学校の学力補充教室と重なる日は、それが始まる前に参加することも本人次第で可能です。